

都技 生涯 研修 基本講習会Ⅱ

[開催コード]
申請中 (基本認定単位)

[重要なお知らせ]

1. コロナウイルス感染拡大防止目的により、参加申し込み者のみが視聴できるYouTubeの限定公開システムを用いたオンラインによるセミナー開催となります (*オンライン環境がない方は会場参加可)。
2. **本研修会は東京都保健局よりの委託事業となっております。**
つきましては受講対象者は以下の方に限ります。
 - ① 一般社団法人東京都歯科技工士会 (都技) 会員
 - ② 学生並びに都技メイト会員 (技工学校卒業後2年度内の方)
 - ③ 東京都内在住在勤歯科技工士

[申込方法]

- ① 参加希望者は右記QRコード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。
ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>
 - ② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。
- *定員になり次第締切させていただきます。



申込用QR

[LINE公式アカウント登録のお願い]

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技では試験的にLINE公式アカウントを設けましたのでLINEを使用されている方は、是非とも登録をお願い致します。



都技LINE公式
アカウントQR

[お問い合わせ]

一般社団法人 東京都歯科技工士会
〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F
e-mail: togi-info@to-ginet.com

令和3年度 基本講習会Ⅱ

オンラインセミナー

歯科から始まる多職種連携シンポジウム

人生100年時代！ 少しでも永く口から食べる喜びを

～在宅医療におけるニーズをつかみ、
新たな歯科のバリューを考える～

第1部 「在宅医療における歯科、摂食嚥下リハビリテーションの現状と未来について
～ニーズをとらえ、バリューを出す～」

第2部 「摂食嚥下障害の治療におけるデジタルテクノロジーの応用と可能性
～在宅医療における歯科技工士の役割を考える～」



Tokyo master course Science Lecture

講師

[第一部] 山口 浩平 先生

[第二部] 一志 恒太 先生

[開催日時]
令和4年 2月6日(日)

受付 12:30 開始 13:00 → 終了 17:00

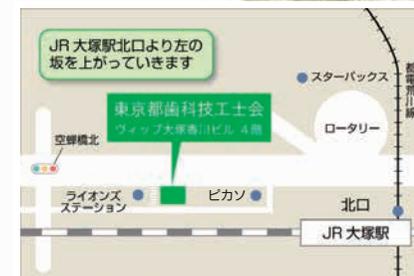
オンラインセミナー

定員 80名 参加費 無料

会場受講

定員 10名 参加費 無料

場所 東京都歯科技工士会 研修室
東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F



一般社団法人 東京都歯科技工士会

都技
生涯
研修

歯科から始まる多職種連携シンポジウム

人生100年時代！少しでも永く口から食べる喜びを ～在宅医療におけるニーズをつかみ、新たな歯科のバリューを考える～

第1部

在宅医療における歯科、 摂食嚥下リハビリテーションの現状と未来について

～ニーズをとらえ、バリューを出す～

「人生100年時代」というフレーズを目にするようになった。1970年の男性の平均寿命が69歳であったことを考えれば、その変化は凄まじい。社会の変化に応じて、歯科も変化を余儀なくされる。社会からのニーズが変わるからだ。

口腔内スキャナーやCAD/CAMなどのデジタルデンティストリー、歯周病と全身の関連、オーラルフレイル、在宅医療と摂食嚥下リハビリテーション。大きな変化の渦中にある我々はそこに順応しなければならぬので大変だという方もいるかもしれないが、一方で、この変化を楽しもうというマインドならば、随分といい時代に仕事ができているとも思えないだろうか。

社会の変化に適応していくためには、ニーズをつかむことが極めて重要である。演者は歯科訪問診療における摂食嚥下リハビリテーションが専門なので、在宅や施設における「食」に関する強いニーズを日々感じており、多職種からの歯科への期待は極めて高い。ポストコロナ、

ウィズコロナと呼ばれている中で、デジタルの流れも止めることはできないだろう。デジタルの議論になると、自分達の仕事が奪われると一歩引いてしまう歯科技工士の方々もいるかもしれないが、決してそうではない。これまで培ってきた技とデジタルを融合させて、新しい価値を生み出すことが今の歯科医療に求められている。

「人生100年時代！少しでも永く口から食べる喜びを」というタイトルにもあるように、今回は補綴治療による口腔機能の回復にとどまらず、その先にある食べることや生活まで視野を広げて、「在宅医療」「多職種連携」「テクノロジー」という観点から議論を深めたいと考えている。聴講者への事前アンケート、看護師、作業療法士、言語聴覚士など多職種を迎え入れたパネルディスカッションなど、これまでにない試みで参加された方々の学びを深めたい。明日の臨床にすぐに活かせるわけではないかもしれないが、これから先の歯科を考える上で少しでもお力になれば幸いです。

■講師略歴

山口 浩平

[やまぐち こうへい]



2012年 東京医科歯科大学歯学部歯学科卒業
2019年 東京医科歯科大学大学院
歯学総合研究科 高齢者歯科学分野卒業
2021年 東京医科歯科大学病院
摂食嚥下リハビリテーション学分野
特任助教・医局長

●博士(歯学)●日本老年歯科医学会 専門医・
摂食機能療法専門歯科医師・認定医●日本臨
床代謝栄養学会 認定歯科医師●日本摂食嚥下
リハビリテーション学会 認定士
●現在、総務省の「異能vation」プロジェクト
(<https://www.inno.go.jp/>)の破壊的な挑戦部
門の挑戦者として、フレンチシェフと3Dフードプリン

ターを用いた介護食改革に取り組んでいる。課題
名は「介護施設で堪能、フレンチフルコース-3D
フードプリンターで実現する食のダイバーシティー」。

代表論文

●Yamaguchi K, et al. Age-related changes in
swallowing muscle intramuscular adipose
tissue deposition and related factors. *Exp
Gerontol.* 2021 ;153:111505.
●Yamaguchi K, et al Ultrasonography Shows
Age-related Changes and Related Factors
in the Tongue and Suprahyoid Muscles. *J
Am Med Dir Assoc.* 2021 ;22(4):766-772.
など、ほか多数

第2部

摂食嚥下障害の治療における デジタルテクノロジーの応用と可能性

～在宅医療における歯科技工士の役割を考える～

2021年9月1日に「デジタル社会形成基本法」が設
立された。デジタル社会の推進は、国際競争の強化、急
速な少子高齢化の進展への対応として極めて重要とされ
ている。2021年に開設されたデジタル庁では、医療に
おけるデジタル化やデータ連携が推進されている。す
でに歯科医療ではデジタルテクノロジーが広く臨床に
応用されており、歯科技工士は補綴装置製作にCAD/CAM
装置などを用いるため、歯科のデジタル化において必要
な役割を担っている。さらに、超高齢社会を迎えた日本
では、これまでの歯科でのニーズであった補綴装置による
口腔内の機能回復に加えて、高齢者や障害者に多い摂食
嚥下障害に対するリハビリテーションが求められてき
ている。歯科技工士は、摂食嚥下リハビリテーションに
用いられる口腔内装置(舌接触補助装置など)の製作を
担っているが、実際には、摂食嚥下障害の治療に関わり

のある歯科技工士は大学病院等の一部の施設に偏ってい
るのが現状である。

本講演では、口腔内装置の製作における基本情報か
ら、東京医科歯科大学摂食嚥下リハビリテーション学
分野との共同研究である口腔内スキャナー、3Dプリンタ
などのデジタルテクノロジーを応用した装置製作の詳細
について報告する。また、歯科医師と歯科技工士の連携
方法について解説する。さらに、多職種連携の一環とし
て、ミールラウンドに歯科技工士が参加し、患者が食
べる様子を観察することにより、その患者にとってより良
い口腔内装置や新たな装置の可能性について提案するこ
とで、歯科技工士が多職種連携において活躍するための
方法を「多職種連携パネルディスカッション」で議論
したい。

■講師略歴

一志 恒太

[いっし こうた]



2002年 学校法人博多学園 福岡医科歯科技術
専門学校 歯科技工士科(現、博多メ
ディカル専門学校)卒業
2002年～2003年 歯科補綴研究所 d.I. SeiRyu
2003年～2012年 ㈱NK DENTAL CRAFT 主任
2007年～現在 (公社)日本口腔インプラント学会
インプラント専門歯科技工士取得
2012年～2013年 ㈱ワールドデンタルITセンター
センター長
2013年～2015年 学校法人博多学園 博多メ
ディカル専門学校 歯科技工士科
教育課程編成委員会 委員
2013年～現在 学校法人福岡学園 福岡歯科大学
医科歯科総合病院 中央技工室

2016年～現在 (公社)日本歯科技工士会
教育研修委員会・生涯研修
中央本部委員会ほか委員

所属

福岡歯科大学医科歯科総合病院 中央技工室
所属団体
(公社)日本歯科技工士会／(公社)日本口腔イ
ンプラント学会／(公社)日本補綴歯科学会／
(一社)日本歯科技工学会／(一社)日本デジ
タル歯科学会／(一社)日本スポーツ歯科医学会
／(一社)日本摂食嚥下リハビリテーション学
会／日本歯科医学教育学会

第3部 多職種連携パネルディスカッション(多職種紹介プレゼン)

在宅医療における歯科のニーズとバリューを考えよう

～テクノロジーと多職種連携の観点から～

座長 山口浩平先生

パネリスト Dr(歯科医師:谷口祐介先生)、Dt(歯科技工士:一志恒太先生)、Ns(看護師:小澤茉祐先生)、
ST(言語聴覚士:竹宮鉄平先生)、OT(作業療法士:清水信彰先生)

受講者からの質問もとに展開してまいります。質問をセミナー中に受け付けますので、皆様のご参加とご質問をお待ちしております。